

# Panasonic

**DVCPRO 50**

ノンリニア編集システム  
**Quick Cutter 50**

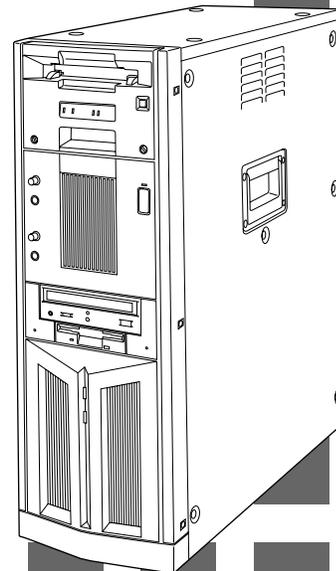
AJ-DE97

取扱説明書

本誌には、ハードウェアの内容を掲載しております。  
映像や音声の取り込み、編集のしかたなど操作方法の  
詳細については、「リファレンスマニュアル」をお読み  
ください。

## 保証書別添付

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入を  
お確かめのうえ、お受け取りください。  
製造番号は、品質管理上重要なものです。お買い上げ  
の際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。  
著作権（録画テープの取り扱い）  
あなたがビデオで録画したテープは、個人として楽しむ  
ほかは著作権法上、権利者に無断で使用はできません。



ご使用前に本誌をよくお読みのうえ、正しくお使いくだ  
さい。そのあと大切に保管し、わからないときは再読し  
てください。

上手に使って、上手に節電  
ご使用後は、忘れずに電源スイッチを切ってください。

# 目 次

---

安全上のご注意	3
特 長	9
ご注意	9
システムの構成	10
各部の名称と機能	11
前面パネル部	11
LED 表示パネル部	12
後面パネル部	13
接続のしかた	17
基本の接続	17
モニターの接続	18
VTR の接続	19
音響機器の接続	20
編集コントロールパッドの接続	21
システムの起動と終了	22
システムの起動	22
システムの終了	23
故障かな? と思う前に	25
コネクタの信号	33
エラー項目	35
WARNING ランプ点灯時	35
AUTO OFF ランプ点灯時	35
保守とお手入れについて	38
ビデオヘッドのクリーニングについて	38
結露について	38
アフターサービス	39
アフターサービスについて	39
定期保守のおすすめ	39
定 格	40

● Windows、Windows NT は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

● Pentium は米国 Intel Corporation の登録商標です。

その他会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

# 安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



## 警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



## 注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

# 安全上のご注意

必ずお守りください

## 設置について

## 警告

<p>不安定な場所に置かない！</p> <p> 落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>電源コードに重いものを載せない！</p> <p> 本機の下敷きにならないよう注意してください。</p> <p>禁止</p> <p>コードが傷ついて、火災・感電を起こすおそれがあります。</p>	<p>コードに重いものを載せない！</p> <p> 本機の下敷きにならないよう注意してください。</p> <p>禁止</p> <p>コードが傷ついて、火災・感電を起こすおそれがあります。</p>
<p>水場に設置しない！</p> <p> 火災・感電の原因となります。</p> <p>水場使用禁止</p>	<p>ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない！</p> <p> 感電の原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>コンセントや配線機器の定格を越える使い方や、交流100V以外での使用はしない！</p> <p> たこ足配線などで定格を越えると、発熱による火災の原因となります。</p> <p>禁止</p>
<p>付属品・オプションは、指定の製品を使用する！</p> <p> 本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こすおそれがあります。</p>	<p>転倒防止金具を使用する！</p> <p> 地震などにより転倒するおそれがあります。</p> <p>必ず付属の転倒防止金具を取り付けてください。</p>	

# 安全上のご注意

必ずお守りください

## 警告

### 使用方法について

<p>本機の上に水の入った容器、小さな金属物を置かない！</p> <p> 本機内部にはいると、故障や事故を起こすおそれがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>機器の開口部から異物を差し込んだり、落とし込んだりしない！</p> <p> 火災・感電のおそれがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>本機を改造しない！</p> <p> 火災・感電の原因となります。</p> <p>分解禁止</p>
<p>電源コード・電源プラグが破損するようなことはしない！</p> <p>傷つけたり、加工したり、高温部に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない！</p> <p> 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。</p> <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店に、ご相談ください。</li></ul>	<p>機器が濡れたり、水が入らないようにする！</p> <p> 火災・感電のおそれがあります。雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、特にご注意ください。</p> <p>禁止</p>	<p>水場で使用しない！</p> <p> 火災・感電の原因となります。</p> <p>水場使用禁止</p>
<p>電源プラグは、根元まで確実に差し込む！</p> <p> 感電の原因になります。</p>	<p>表示された電源電圧以外は、使用しない！</p> <p> 火災・感電のおそれがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>本機の裏ぶた・キャビネット・カバーなどを外さない！</p> <p> 感電の原因となります。</p> <p>分解禁止</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●点検・整備・修理は、お買い上げの販売店に、ご相談ください。</li></ul>

# 安全上のご注意

必ずお守りください

## 異常時の処理 について

## 警告

本機を落としたり、破損した場合は、電源スイッチを切り、電源（プラグ）を抜く！



電源プラグ  
を抜く

そのまま使用すると、火災・感電を起こすおそれがあります。

本機の内部に水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源（プラグ）を抜く！



電源プラグ  
を抜く

そのまま使用すると、火災・感電を起こすおそれがあります。

本機の内部に異物が入った場合は、電源スイッチを切り、電源（プラグ）を抜く！



電源プラグ  
を抜く

そのまま使用すると、火災・感電を起こすおそれがあります。

煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態の場合は、電源スイッチを切り、電源（プラグ）を抜く！



電源プラグ  
を抜く

火災・感電の原因となります。

- お買い上げの販売店に、修理をご依頼ください。

電源コードが傷んだ場合は、交換を依頼する！



そのまま使用すると、火災・感電を起こすおそれがあります。

- お買い上げの販売店に、ご相談ください。

## お手入れについて

## 警告

電源プラグのほこりなどは、定期的にとる！



プラグにほこりがたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因となります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

# 安全上のご注意

必ずお守りください

## 設置について

### ⚠ 注意

<p>電源コードを熱器具に近づけない！</p>  <p>コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>油煙や湯気が当たる場所に置かない！</p>  <p>火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>湿気やほこりの多い場所に置かない！</p>  <p>火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>禁止</p>
<p>本機の通風孔をふさがない！</p>  <p>通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p> <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●本機を風通しの悪い所に押し込まないでください。</li><li>●テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かないでください。</li></ul>	<p>プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない！</p>  <p>コードが傷つき、火災・感電の原因となります。</p> <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●必ずプラグを持って抜いてください。</li></ul>	<p>持ち上げや移動には、十分注意する！</p>  <p>落としたりすると、けがの原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●10kg以上の機器は、2人以上で持ち上げるなど、慎重に取り扱ってください。</li></ul>
	<p>斜めに設置しない！</p>  <p>ディスクに歪みがかかり、保存したデータが使えなくなります。</p> <p>禁止</p>	

## 使用方法について

### ⚠ 注意

<p>本機の上に重い物を置かない！</p>  <p>バランスがくずれて、落下し、けがの原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>本機に乗らない！</p>  <p>倒れたり、壊れたりし、けがの原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>CDトレイを出した状態のまま放置しない！</p>  <p>壊れたり、けがの原因となります。</p> <p>禁止</p>
<p>カセットテープ挿入口に、手をはさまれないように注意する！</p>  <p>指に注意</p> <p>けがの原因となります。</p>	<p>移動させる場合は、電源スイッチを切り、プラグを抜き、外部の接続コードを外す！</p>  <p>電源プラグを抜く</p> <p>コードが傷つき、火災・感電の原因となります。</p>	<p>長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く！</p>  <p>電源プラグを抜く</p> <p>火災の原因となります。</p>

# 安全上のご注意

必ずお守りください

## 使用方法について

### ⚠ 注意

磁石を近づけない！



磁石などの強い磁気を近づけると、保存したデータが使えなくなります。

禁止

使用中に動かさない！



使用中に振動を与えると、保存したデータが使えなくなります。

禁止

落とさない、強い衝撃を与えない！



強い衝撃を与えると、保存したデータが使えなくなります。

禁止

## お手入れについて

### ⚠ 注意

お手入れの際は安全のため、電源スイッチを切り、電源（プラグ）を抜く！



火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

1年に1度ぐらいは、販売店に内部の掃除の相談を！



本機の内部にほこりがたまったら、使用し続けると、火災・故障の原因となることがあります。

# 特 長

---

## オールインワンのタワー型

本体には、アップロード/ダウンロードのためのVTRが内蔵されています。外付けVTRのコストとスペースが削減でき、FDやMOと同じ感覚でDVCPROテープをローディングすることができます。AV記録用ハードディスクも内蔵し、タワー型パソコンと同等のサイズを実現しました。本体をデスクサイドに置き、効率よく編集できます。

## 2倍速/4倍速で転送・書き出し

内蔵VTRとハードディスク間のアップロード/ダウンロードは、2倍速(DVCPRO 50)/4倍速(DVCPRO)で行うことができ、ノンリニア編集のネックといわれた準備作業が格段に早くなります。

## DVCPRO 50/DVCPROと同じ高画質記録

ハードディスクへのデータ記録は、DVCPRO 50/DVCPROと同じデジタルコンポーネント圧縮記録方式を採用しています。多くのノンリニア編集機が採用しているJPEGに比べ、高画質が確保できます。

(同一転送レートで比較した場合)

また、内蔵ハードディスク(標準仕様:72GB)には、140分(DVCPRO 50時)または、280分(DVCPRO時)の映像・音声を記録することができます。

## 圧縮データのまま転送

テープとディスク間のアップロード/ダウンロードは、圧縮形式のまま行われます。A/D(D/A)変換、圧縮/伸張プロセスが存在しないため、転送時の画質劣化が全くありません。

## 圧縮データのまま編集

カット編集の場合、本NLEシステムは、記録されたデータに何の改変も加えません。圧縮データのまま、読み出しの順序と位置を変更するだけです。収録時の圧縮データは一度も伸張されることなく、高画質のまま完パケまで編集できます。

(特殊効果やスーパーインポーズを使用した場合は、いったんフルビットのデジタル映像データに伸張し加工した後、再圧縮します。)

## 特殊効果をリアルタイムで実行

スイッチャーを内蔵しており、A/Bロール編集時はワイプ/ディゾルブなどの特殊効果をリアルタイムでプレビューできます。仕上がりを確認しながら、何度でも編集を行えます。

## 外部VTR制御(RS-422A)

RS-422A(9 Pin)リモート端子を備え、アナログ/デジタルの幅広いVTRを本NLEシステムで制御します。外部VTRを用いた、素材の取り込みや完パケの送出に利用できます。

## AJ-DE77の操作系を継承

AJ-DE77のユーザーインターフェイスをベースに、操作性を改善しています。

## マウスによる軽快な操作

カットの追加・入れ替え・削除は、マウス操作でクリップを並べ替えるだけです。カット編集がレスポンス良く操作できます。

# ご注意

### 1. 本機を車載用としては、使用しないでください。

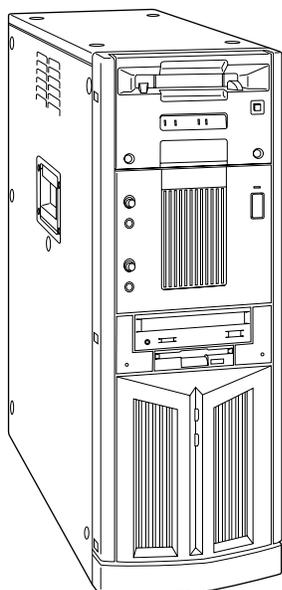
けがの原因となるほか、HDDやデータへの障害を起こす原因となります。

### 2. 本機に指定以外のソフトウェアをインストールしないでください。

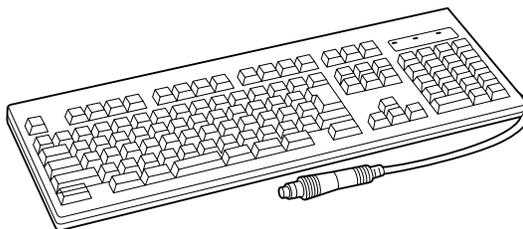
本機が正常に動作しなくなる場合があります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

# システムの構成

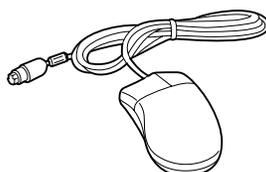
付属のマウス・キーボード・ケーブル類に、強い衝撃を加えないでください。  
故障の原因となります。



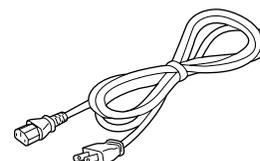
クイックカッター本体部



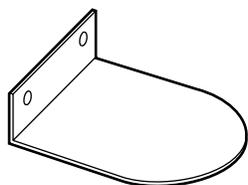
キーボード



マウス

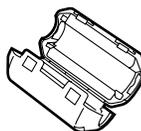


電源コード



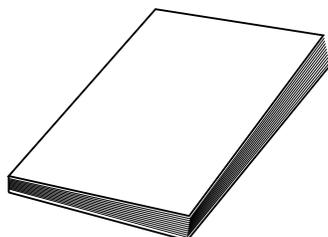
転倒防止脚 (4 個)  
取付ネジ (8 個)

注意：  
設置前に転倒防止脚を取り付けてください。  
倒れると、けがをする恐れがあります。

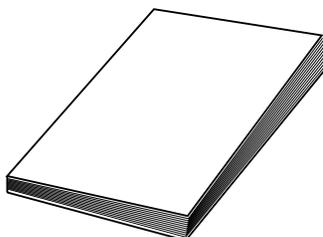


フェライトコア (4 個)

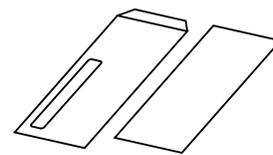
外部拡張用 SCSI HDD ドライブを接続するときは、  
SCSI I/F ケーブルの両コネクター付近に、フェラ  
イトコアを取り付けてください。



取扱説明書(本誌)



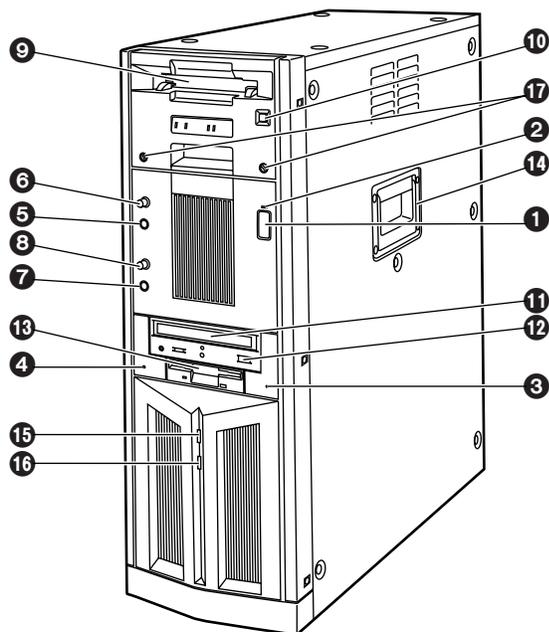
設置マニュアル



保証書

# 各部の名称と機能

## 前面パネル部



### ① 本体部電源スイッチ

電源は、システムを終了してから「OFF」にしてください。動作中に電源を切ると、データが破壊されたり、HDDが故障したりすることがあります。特に、起動中のモニター表示（パーソナルコンピューター用）が「ブルーのバックに白抜き文字」状態の間は、決して電源を切らないでください。

### ② 本体部電源表示 LED

### ③ HDD サブスイッチ

本体部電源スイッチを「ON」にしても、PC部の電源が起動しない場合は、このスイッチを押します。通電中に押すと、PC部の電源が「OFF」になりますので、むやみにこのスイッチを押さないでください。

### ④ HDD RESET スイッチ

PC部が正常に動作していない場合は、このスイッチを押します。起動画面に戻りますので、動作を確認してください。起動中のモニター表示（パーソナルコンピューター用）が「ブルーのバックに白抜き文字」状態の間は、決してこのスイッチを押さないでください。

### ⑤ ヘッドホンジャック

ステレオヘッドホンを接続すると、音声をモニターできます。

### ⑥ ヘッドホンボリュームつまみ

ヘッドホンの音量および、モニターの出力の音量を調整するボリュームです。

### ⑦ マイクジャック

マイクを接続して、ボイスオーバー編集ができます。

### ⑧ マイクボリュームつまみ

マイク音声の入力レベルを調整するボリュームです。

### ⑨ カセット挿入口

Mカセット、Lカセットの挿入口です。民生カセットの記録/再生はできません。

### ⑩ カセットテープ EJECT ボタン

このボタンを押すと、テープがアンロードし、数秒後にカセットを自動排出します。

### ⑪ CD-ROM ドライブ

### ⑫ トレイ OPEN/CLOSE ボタン

### ⑬ フロッピーディスクドライブ

### ⑭ ハンドル

### ⑮ HDD アクセス表示ランプ (システム)

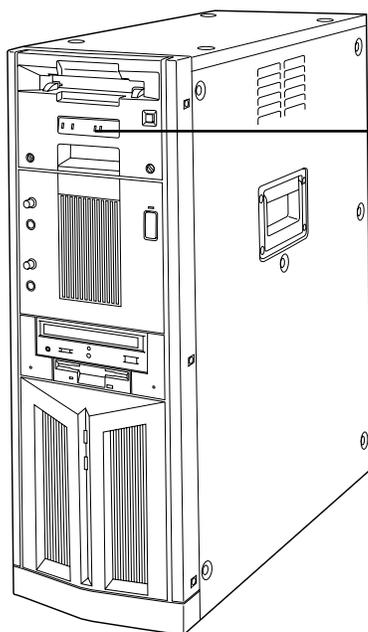
### ⑯ HDD アクセス表示ランプ (AV データ)

### ⑰ メカニズム固定ねじ

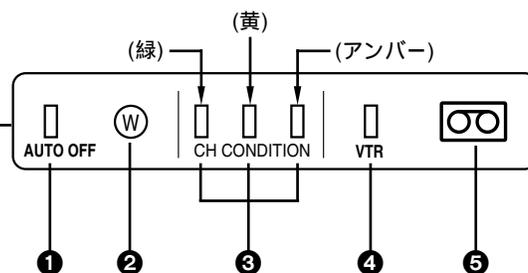
VTR部のヘッドメカニズム走行系のクリーニング等、サービスマンテナンス時にゆるめて、VTR部のメカニズムを引き出すことができます。メンテナンス終了後及び、移動時には必ずメカニズムを収納し、ねじを確実に締めてください。

# 各部の名称と機能

## LED 表示パネル部



LED 表示パネル



### ① AUTO OFF ランプ

本機の動作に異常が発生した場合に点灯します。

### ② ワーニングランプ

ワーニング項目が発生した場合に点灯します。

### ③ チャンネルコンディションランプ

エラーレートの状態に応じて点灯します。

(緑 黄 アンバー)

緑： ビデオ/オーディオ再生信号のエラーレートが、ともに良好な場合に点灯します。

黄： ビデオ/オーディオ再生信号のいずれかのエラーレートが、悪化した場合に点灯します。  
このランプが点灯しても、再生画は正常です。

アンバー： ビデオ/オーディオ再生信号のいずれかに、修正/補間がかかった場合に点灯します。

### ④ VTR ランプ

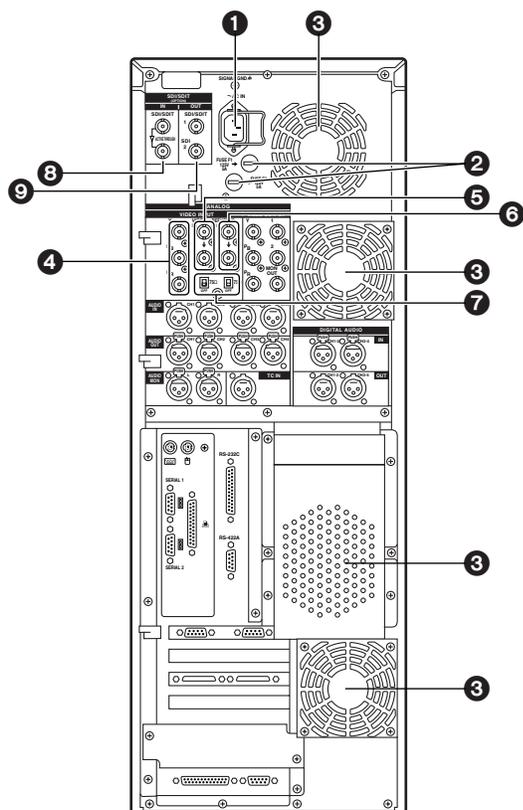
テープ走行中に点灯します。

### ⑤ カセット挿入表示ランプ

本機にカセットが挿入されているときに点灯します。

# 各部の名称と機能

## 後面パネル部



① AC 電源入力 [~ AC IN]  
電源コード(付属)を接続します。

② ヒューズホルダー [FUSE 1/2, 125 V, 5 A]  
5Aのヒューズが入っています。  
FUSE 1: VTR 部用  
FUSE 2: PC 部用

③ 放熱ファン  
内部温度の上昇を防ぐためのファンです。本機の  
周囲を壁や物でふさがらないでください。

④ アナログ・コンポーネント・ビデオ信号入力端子  
[ANALOG, VIDEO INPUT, Y/P<sub>B</sub>/P<sub>R</sub>]  
アナログ・コンポーネント・ビデオ信号を入力し  
ます。  
VTR など、コンポーネント信号出力を備えた映像  
機器を接続します。

⑤ アナログ・コンポジット・ビデオ信号入力端子  
[ANALOG, VIDEO INPUT, VIDEO IN]  
アナログ・コンポジット・ビデオ信号を入力しま  
す。  
2つの端子は、ループスルーでつながっています。  
VTR など、コンポジット信号出力を備えた映像機  
器を接続します。

⑥ アナログ・リファレンス・ビデオ信号入力端子  
[ANALOG, VIDEO INPUT, REF VIDEO IN]  
アナログ・リファレンス・ビデオ信号を入力しま  
す。  
2つの端子は、ループスルーでつながっています。  
安定したビデオ/オーディオ信号を再生するた  
めに、必ず、外部の同期信号発生器より、この端  
子に安定したブラックバースト信号を入力してく  
ださい。

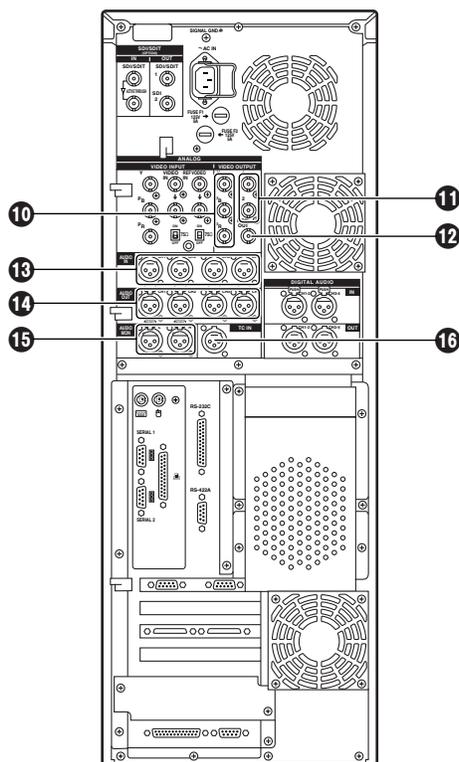
⑦ 75 終端スイッチ  
終端する場合には、ON にします。

⑧ シリアルデジタルビデオ信号入力端子  
(オプション) [SDI/SDTI IN]  
(オプション対応：お買い上げの販売店にご相談  
ください。)

⑨ シリアルデジタルビデオ信号出力端子  
(オプション) [SDI/SDTI OUT]  
(オプション対応：お買い上げの販売店にご相談  
ください。)

# 各部の名称と機能

## 後面パネル部



**10** アナログ・コンポーネント・ビデオ信号出力端子  
[ANALOG, VIDEO OUTPUT, Y/Pb/Pr]  
アナログ・コンポーネント・ビデオ信号を出力します。  
VTR など、コンポーネント信号入力を備えた映像機器を接続します。

**11** アナログ・コンポジット・ビデオ信号出力端子  
[ANALOG, VIDEO OUTPUT, 1/2]  
アナログ・コンポジット・ビデオ信号を出力します。  
VTR など、コンポジット信号入力を備えた映像機器を接続します。

**12** アナログ・ビデオモニター信号出力端子  
[ANALOG, VIDEO OUTPUT, MON OUT]  
スーパー付きのアナログ・コンポジット・ビデオ信号を出力します。  
ビデオモニター（映像確認用）を接続します。

**13** アナログ・オーディオ信号入力端子  
[ANALOG, AUDIO INPUT, CH1/CH2/CH3/CH4]  
アナログ・オーディオ信号を入力します。  
CD や VTR など、アナログ音声信号出力を備えたオーディオ機器を接続します。

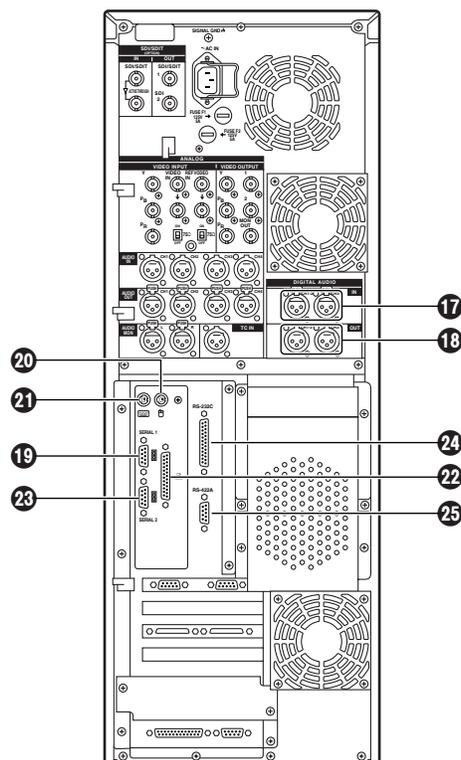
**14** アナログ・オーディオ信号出力端子  
[ANALOG, AUDIO OUTPUT, CH1/CH2/CH3/CH4]  
アナログ・オーディオ信号を出力します。  
オーディオアンプや VTR など、アナログ音声信号入力を備えたオーディオ機器を接続します。

**15** アナログ・オーディオ・モニター信号出力端子  
[ANALOG, AUDIO MON, L/R]  
オーディオ再生信号を出力します。  
モニタースピーカーなどを接続します。

**16** タイムコード信号入力端子  
[TC IN]  
外部からのタイムコードを入力するときに接続します。

# 各部の名称と機能

## 後面パネル部



①⑦ デジタル・オーディオ信号入力端子  
[DIGITAL AUDIO IN, CH1-2, CH3-4]  
AES/EBU フォーマットのデジタルオーディオ信号を入力します。

①⑧ デジタル・オーディオ信号出力端子  
[DIGITAL AUDIO OUT, CH1-2, CH3-4]  
AES/EBU 入力を備えた、VTR などを接続します。

①⑨ シリアル 1 端子 [SERIAL 1]  
予備端子です。

②⑩ マウス端子 [MOUSE]  
マウス (付属) を接続します。

②⑪ キーボード端子 [KEYBOARD]  
キーボード (付属) を接続します。

②⑫ パラレル端子 [PARALLEL]  
パラレル I/F のデバイスを接続します。

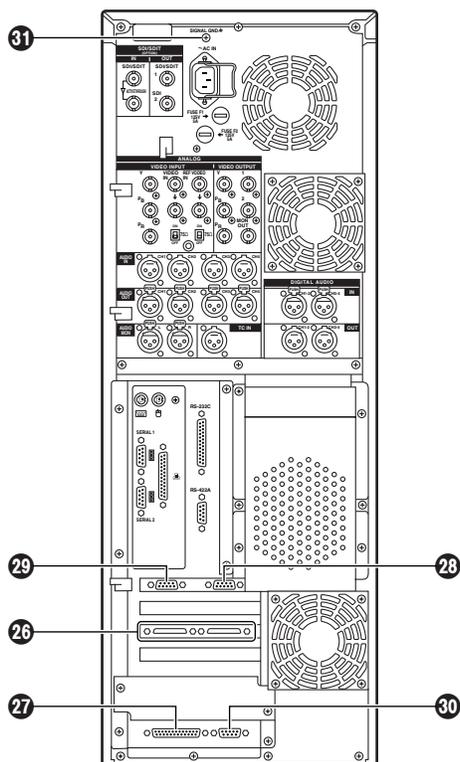
②⑬ シリアル 2 端子 [SERIAL 2]  
予備端子です。

②⑭ RS-232C 端子 [RS-232C]  
編集パッドを接続します。  
(オプション対応：お買い上げの販売店にご相談ください。)

②⑮ RS-422A 端子 [RS-422A]  
RS-422A インターフェースで制御できる外部 VTR (External VTR1) を接続し、録画・再生を制御します。

# 各部の名称と機能

## 後面パネル部



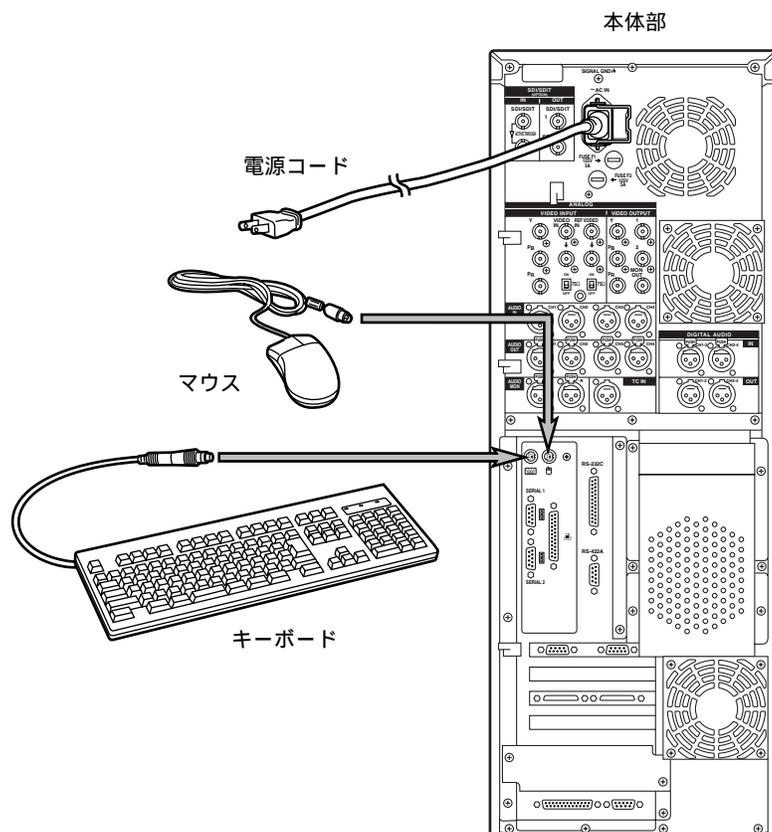
- ②⑥ SCSI 端子  
外部拡張用 SCSI HDD ドライブ を接続します。  
(将来、オプション対応する予定です。お買い上げ  
の販売店にご相談ください。)
- ②⑦ RS-232C 端子  
予備端子です。(メンテナンス用)
- ②⑧ SVGA-I/F 端子  
SVGA モニターに接続します。
- ②⑨ SVGA-I/F 端子  
予備端子です。
- ③⑩ RS-422A 端子 [RS-422A]  
RS-422A インターフェースで制御できる外部  
VTR (External VTR2) を接続し、録画・再生を  
制御します。
- ③① SIGNAL GND 端子  
ノイズ軽減のため、接続機器の信号アース端子と  
接続します。  
安全アースではありません。

# 接続のしかた

## 基本の接続

(電源コード・キーボード・マウス・システムケーブルの接続)

1. キーボードとマウスを、それぞれの接続端子に接続します。
2. 電源コードを接続します。



# 接続のしかた

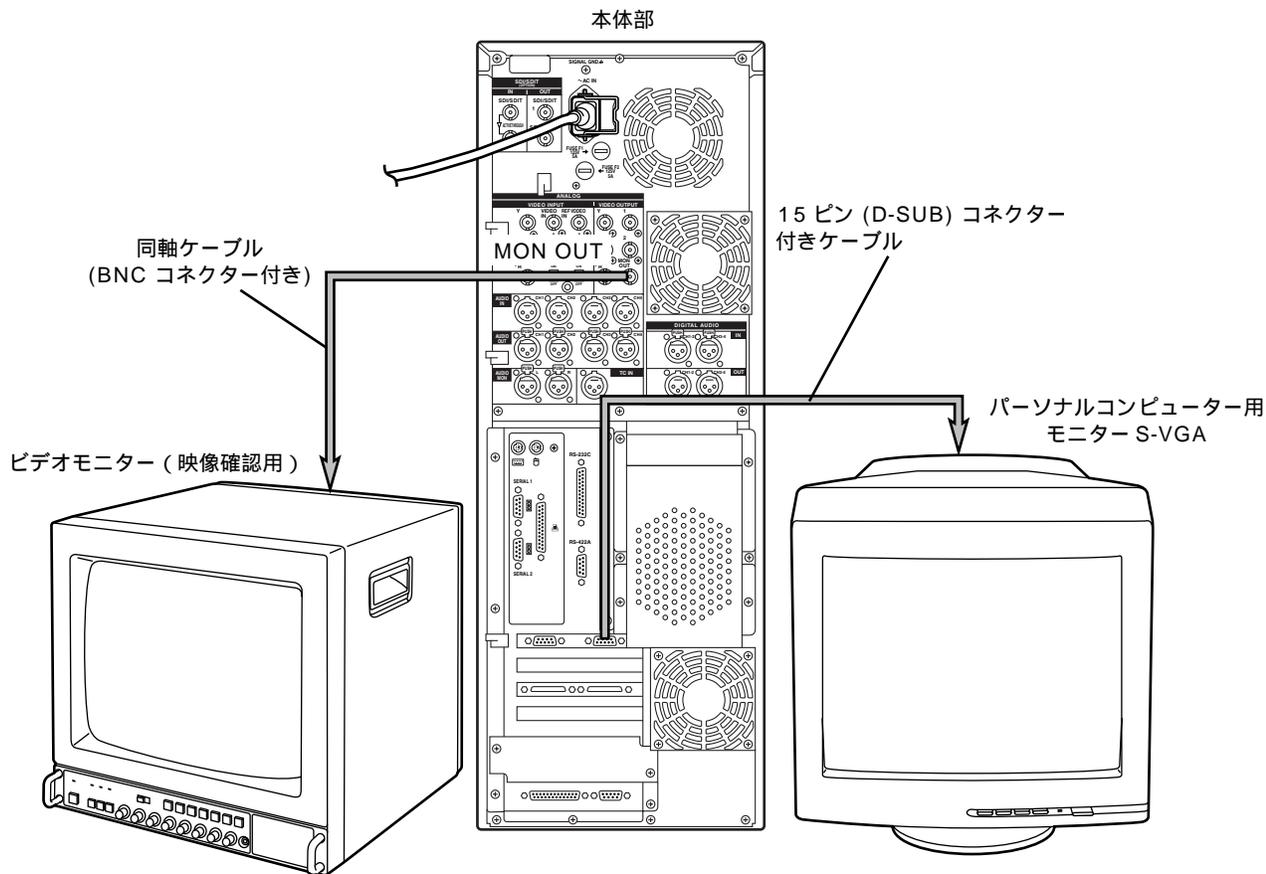
## モニターの接続

### ■ パーソナルコンピュータ用モニター (S-VGA)の接続

SVGA-I/F端子に、パーソナルコンピュータ用モニターを接続します。次の条件に該当するモニターを使用してください。

初期設定値

- 解 像 度 : 1152 × 870 ピクセル
- リフレッシュレート : 75 Hz



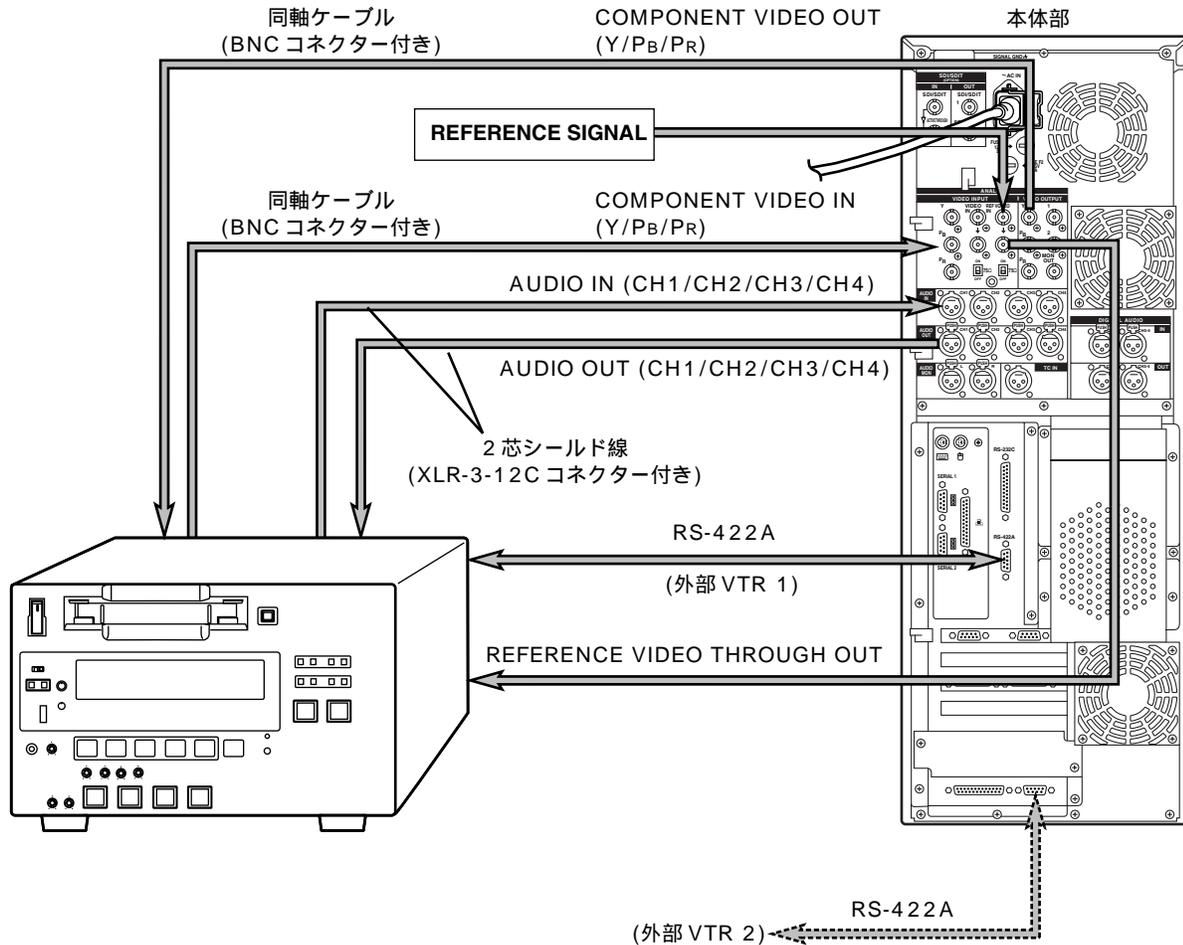
### ■ ビデオモニター (映像確認用) の接続

アナログ・ビデオ・モニター信号出力端子 (MON OUT) に、ビデオモニター (映像確認用) を接続します。記録 / 再生時の映像を確認できます。

# 接続のしかた

## VTR の接続

業務用ビデオカセットレコーダー / プレーヤーを接続します。



### 注意：

外部 VTR は、TAPE/EE 切り替えスイッチを TAPE 側に設定してご使用ください。

(EE 側に設定した場合、映像が不安定になり、音声が発信する恐れがあります。)

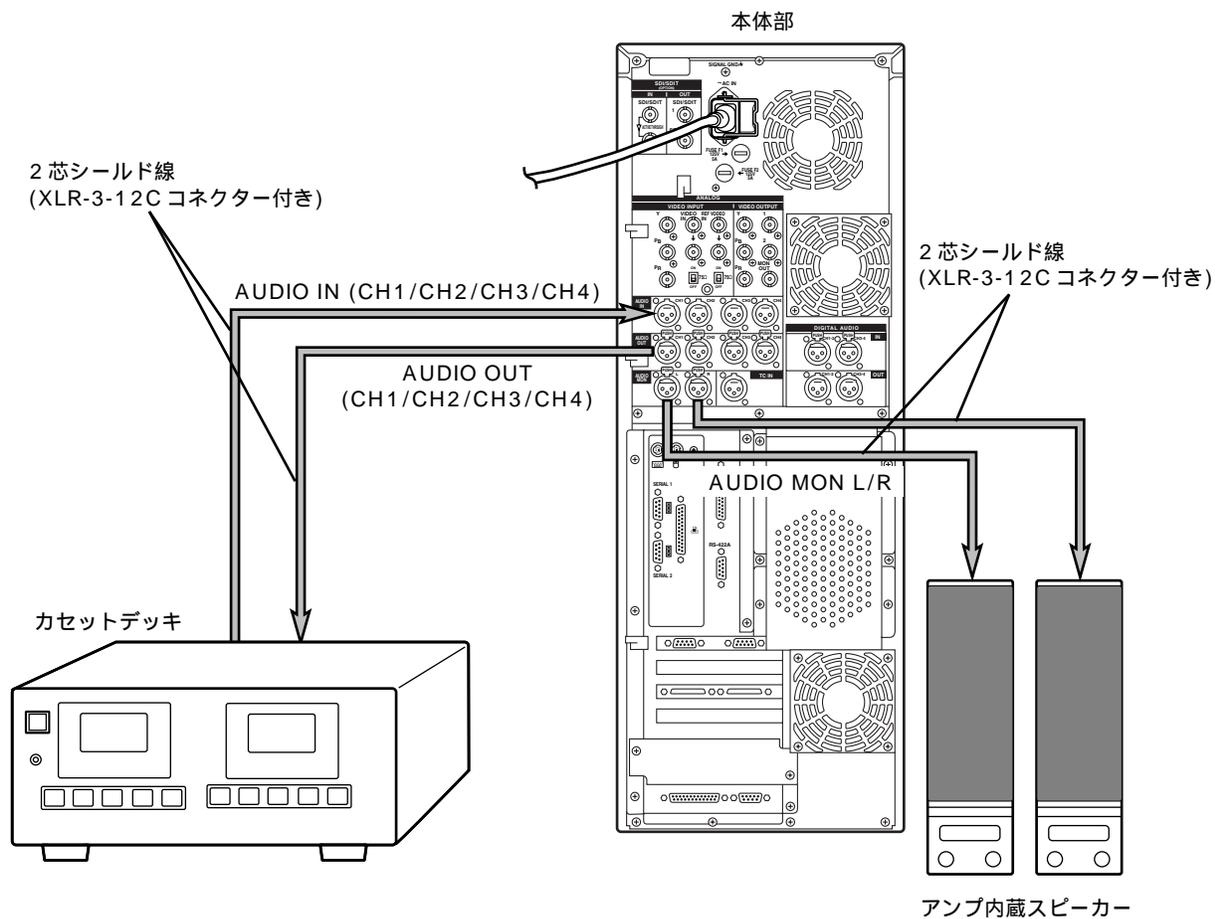
TAPE/EE 切り替えスイッチが無い VTR を使用される場合、映像と音声の接続を下記の 2 通りから選択してご使用ください。

1. 外部 VTR を再生専用機として使用し、外部 VTR の出力側と本機の入力側のみを接続する。
2. 外部 VTR を記録専用機として使用し、外部 VTR の入力側と本機の出力側のみを接続する。

# 接続のしかた

## 音響機器の接続

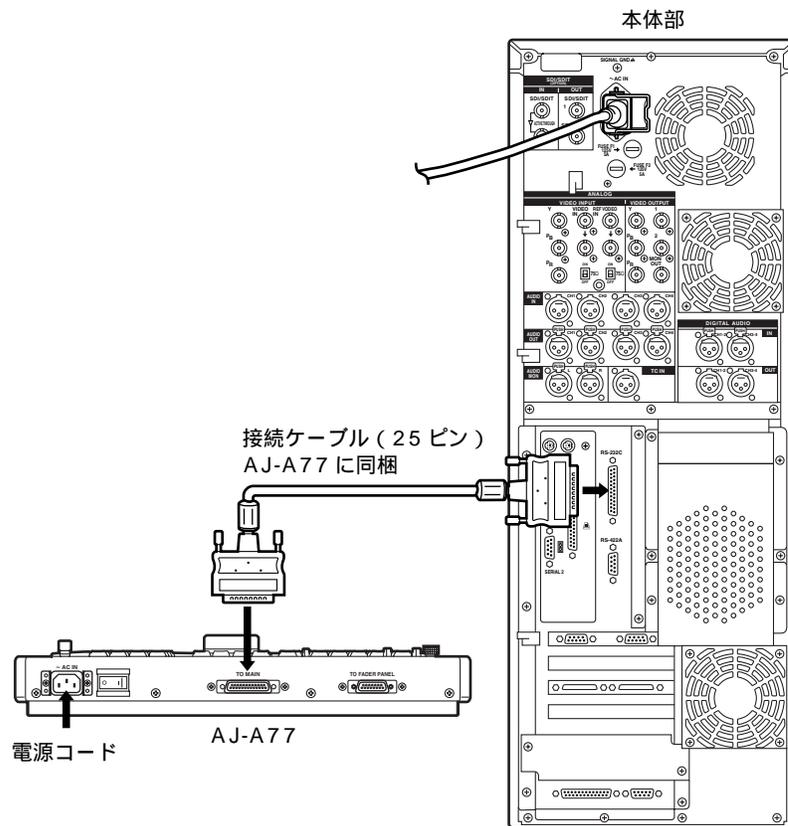
アンプ内蔵スピーカーや、カセットデッキなどを接続します。



# 接続のしかた

## 編集コントロールパッドの接続

オプションの編集コントロールパッド (AJ-A77) を接続します。



### 注意：

本体部の Windows NT が起動した後に、編集コントロールパッド (AJ-A77) の電源を ON にしてください。

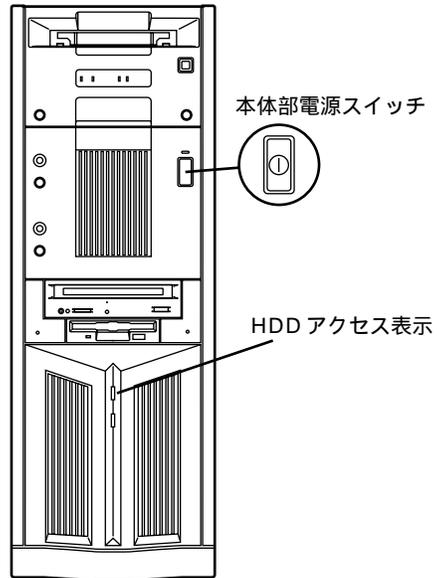
AJ-A77 の電源を ON にすると、AJ-A77 全ての LED インジケーターが約 1.5 秒間点灯します。その後、編集アプリケーションを起動することにより、AJ-A77 の操作が可能になります。

AJ-A77 に関するソフトウェアのセットアップや使用方法については、Nonlinear Editing System Software Package に同梱されている、「AJ-A77 操作リファレンスマニュアル」を参照してください。

# システムの起動と終了

## システムの起動

- 1 周辺機器の電源スイッチを「ON」にします。
- 2 本体部の電源スイッチを「ON」にします。  
本体部前面の HDD アクセス表示が点灯します。
- 3 システムが起動し、Windows NT が立ち上がります。



パソコン用モニター

Windows NT 起動画面



映像や音声の取り込み、編集のしかたなど操作方法の詳細については、「リファレンスマニュアル」をお読みください。

# システムの起動と終了

## システムの終了

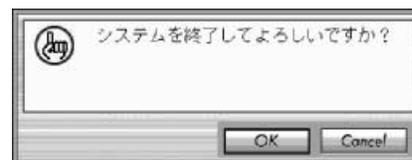
- 1 ツールボックスの **EXIT** をクリックします。  
確認パネルが表示されます。

パソコン用モニター



- 2 終了しても良いときは、**OK** をクリックします。Windows NT の画面になります。

確認パネル



# システムの起動と終了

パソコン用モニター

Windows NT 終了画面

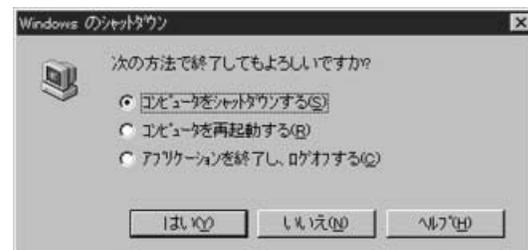


3 Windows NTのシャットダウンをクリックします。確認パネルが表示されます。

4 終了しても良いときは、終了方法を選択し、**はい(Y)**をクリックします。

5 「電源を切断しても安全です。」のメッセージが表示されるまで待ち、本体部 ➡ 周辺機器の順に電源スイッチを「OFF」にします。

確認パネル



# 故障かな？と思う前に

---

本体に異常を感じたときには、修理を依頼する前に次の手順で、操作に間違いがないかをお確かめください。

## 1. 本体の自己診断テスト

本体の電源スイッチを「ON」にすると、本体の基本的なテストが自動的に行われます。

このテストが正常に終了すると、「ピッ」という音が1回鳴ります。

異常が検出された場合には、「ピー」という音(ビープ音)が2回以上鳴ります。このような場合、本製品の設置のしかた、またはハードウェアにエラーがあると思われます。

## 2. 基本チェックの確認

次のことを確認してください。

- 1) 電源ケーブルは、本体とコンセントの両方に確実に差し込まれていますか？
- 2) 本体、パーソナルコンピュータ用モニター、ビデオモニター（映像確認用）各装置の電源スイッチは「ON」になっていますか？
  - 各装置の電源ライトが点灯していますか。
- 3) パーソナルコンピュータ用モニターは、本体と確実に接続されていますか？  
各部の名称と機能 16 ページ ㉔ の SVGA-I/F 端子に接続してください。  
(モニターの接続：18 ページ参照)
- 4) 付属品は後面の各コネクタに、確実に接続されていますか？  
(17 ページ参照)
  - 付属品には、キーボードとマウスがあります。
  - キーボードとマウスのコネクタは同じ形状です。差し間違えていませんか。
- 5) パーソナルコンピュータ用モニターとビデオモニター（映像確認用）の、コントラストと輝度が調整されていますか？
  - 表示が出ない場合、これらの調整不良が考えられます。
- 6) フロッピーディスクドライブに、ディスクを挿入したまま起動していませんか？
  - フロッピーディスクドライブに、ディスクを挿入したまま本体の電源スイッチを「ON」にすると、本体はフロッピーディスクドライブからシステムを起動しようとするために、起動不良を起こすことがあります。

## 3. 「症状別問題対応表」でチェックする

「基本チェックの確認」を行っても症状が直らない場合は、次の「症状別問題対応表」で該当する「症状」と「処置のヒント」を確認してください。

それでもなお異常があるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

# 故障かな？と思う前に

## 症状別問題対応表

一定症状の問題対策については、下記の「症状別問題対応表」をご利用ください。

「症状別問題対応表」の左側より該当する「症状」を検索し、右側の「処置のヒント」を確認してください。

ご利用前には、必ず「基本チェックの確認」を行ってください。

### パーソナルコンピュータ用モニター関連の症状

症 状	処置のヒント
■ モニターの画面表示が全く出ない、または“NO SIGNAL”などの警告表示が出る。	<ul style="list-style-type: none"><li>● まずモニターがPC/AT互換機対応のモニターかを、確認してください。</li><li>● 全く表示の出ない場合は、電源電圧、接続ケーブル(断線)、モニター本体の設定を確認してください。</li><li>● モニターにより、固有の自己診断機能を持つ機種もあります。モニター本体に異常を感じた場合、モニターに付属のマニュアルで、調整方法やテスト方法を確認してください。</li><li>● それでも問題の原因がわからない場合、正常に動作するモニターが手元があれば、モニターの交換を試してください。</li></ul>
■ モニターの画面表示が流れる。	<ul style="list-style-type: none"><li>● モニターの解像度設定値を確認してください。本システムの解像度設定初期値は1152×870、リフレッシュレート設定初期値は75 Hzです。モニターにより、この設定値で正しく表示できない機種があります。モニターに付属のマニュアルで、解像度の設定範囲を確認してください。</li><li>● それでも問題の原因がわからない場合、上記「モニター画面に表示が全く出ない、または“NO SIGNAL”などの警告表示が出る」の項目を参考に、モニターに異常がないかを確認してください。</li></ul>
■ モニターの画面表示に、波状ノイズや歪み、横揺れ、縦揺れジッタ等が発生する。	<ul style="list-style-type: none"><li>● モニターの自己診断機能で正常と判断された場合、モニターの設置場所を検討してください。他の装置(別のディスプレイ、蛍光灯、トランス等)が発生する磁界の影響を受けて、モニター表示に異常が起こる場合があります。このような場合、一度モニターの電源を切り、他の装置とモニターを離して、再度電源を入れ直します。(電源を入れたままモニターを移動しても、画面の歪み等が残ったままになる場合があります。)</li></ul>

## 故障かな？と思う前に

### フロッピーディスクドライブ関連の症状

症 状	処置のヒント
<p>■ フロッピーディスクドライブのアクセスランプが点灯したままか、本システムがフロッピーディスクドライブを認識しない。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>● ディスケットを挿入したまま本機を起動していませんか？ 本機は、電源スイッチを「ON」にすると、フロッピーディスクドライブ内のディスクの有無をチェックしてから、システムを起動します。ディスクが無ければ内蔵のシステムハードディスクから起動しますが、ディスクがあればフロッピーディスクドライブからシステムの起動を行います。 フロッピーディスクドライブにディスクが無いことを確認し、電源スイッチを「ON」してください。</li><li>● 起動時以外でフロッピーディスクドライブにディスクを挿入していて、この問題が発生する場合は、次の項目を確認してください。<ol style="list-style-type: none"><li>1. ディスケットが壊れていませんか？ (別の正常なディスクで確認してください。)</li><li>2. ディスケットが正しく挿入されていますか？ (上下逆に挿入されていませんか。)</li><li>3. 編集アプリケーションプログラムのハングアップ等、ソフトウェアの問題が同時に発生していませんか？</li></ol></li></ul>

# 故障かな？と思う前に

## キーボード・マウス関連の症状

症 状	処置のヒント
<p>■ キーボードのキー全て、あるいは一部が機能しない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本機に付属のキーボードを使用していますか？ 指定のキーボード以外を使用した場合、正常に動作しない場合があります。</li> <li>● キーボードは接続されていますか？</li> <li>● マウスとキーボードの接続が逆になっていませんか？ 本機に付属のマウスとキーボードの場合、逆に接続されても本体が壊れることはありませんが、電源を入れたままの状態でも、操作入力は受け付けません。正しい接続状態での再起動が必要です。</li> </ul>
<p>■ 希望の文字や数字が、キーボードから入力できない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● [NumLock] や [CapLock]、[ScrollLock] の LED の点灯は希望の状態ですか？ これらの LED は、対応するキーを押す度に状態が反転します。誤ってキーを押したまま気づかずにいると、希望どおりの入力ができない場合があります。例えば [NumLock] の場合、LED が点灯していない状態ではテンキーが使えません。</li> </ul>
<p>■ マウスが正常に動作しない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本機に付属のマウスを使用していますか？ 指定のマウス以外を使用した場合、正常に動作しない場合があります。</li> <li>● マウスは接続されていますか？</li> <li>● マウスとキーボードの接続が逆になっていませんか？ 処理のヒントは、上記「キーボードのキー全て、あるいは一部が機能しない。」の項目を参照してください。</li> </ul>
<p>■ マウスカーソルの動きがぎこちない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本機に付属のマウスを使用していますか？ 指定以外のマウスを使用した場合、正常に動作しない場合があります。</li> <li>● マウスのローラーやマウスパッドが汚れていませんか？</li> </ul>
<p>■ マウスカーソルが消えたり、表示位置が突然勝手に変わったりする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本機に付属のマウスを使用していますか？ 指定以外のマウスを使用した場合、静電気等のノイズの影響を受けやすい場合があります。 マウスやマウス接続ケーブルから入ったノイズは、マウスの疑似入力として取り込まれ、誤動作の原因になります。</li> </ul>

## 故障かな？と思う前に

### メモリー関連の症状

症 状	処置のヒント
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ メモリー容量の表示が、実装した容量と異なる。</li> <li>■ 起動中にメモリーチェックを実行したまま、次のステップに進まない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 不適切なメモリーの増設や、メモリーの挿入スロットを変更していませんか？ 工場出荷時は、128MBのDIMMメモリー基板を2枚、計256MBを実装しています。 起動時のメモリーチェック表示では、262144KBになります。 &lt;ノート&gt; メモリー基板を変更される場合は、お買い上げの販売店にご相談のうえ、当社指定のメモリー基板をご使用ください。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 編集アプリケーションプログラムから、本体内蔵のVTRユニットが制御できない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 編集アプリケーションプログラムのコントロールデバイスとして、本体内蔵のInternal VTRが設定されていますか？ デバイスの選択が、Internal VTR以外（External VTRなど）になっている場合は、画面上の操作ボタンをクリックしても、内蔵のVTRは動作しません。</li> <li>● 本体内蔵のVTRにテープが挿入されていますか？ テープがなかったり、EJECT状態の場合には、本体内蔵のVTRは制御できません。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 編集アプリケーションプログラムから、外部VTRが制御できない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 外部VTRの制御用接続ケーブルが正しく接続されていますか？ RS-422Aの9Pin制御ケーブル（別売）を接続していなかったり、接続すべきコネクタを間違えていると、外部VTRは制御できません。接続のしかたは、本体後面の接続図を参照してください。（19ページ参照）</li> <li>● 外部VTRの設定モードが「リモート制御」可能になっていますか？ リモート制御のモード設定については、外部VTRに付属のマニュアルを参照してください。</li> <li>● 編集アプリケーションプログラムのコントロールデバイスとして、External VTRが設定されていますか？ デバイスの選択が、Internal VTRになっている場合は、画面上の操作ボタンをクリックしても、外部VTRは動作しません。</li> <li>● 外部VTRにテープが挿入されていますか？ テープがなかったり、EJECT状態の場合には、外部VTRは制御できません。</li> </ul>

# 故障かな？と思う前に

## ソフト、OS、操作関連の症状

症 状	処置のヒント
■ 起動中、Windows NTのスタートアップ画面が変わるときに、警告ダイアログが表示される。	<ul style="list-style-type: none"><li>● 電源投入後にマウス等の周辺機器を接続していませんか？ 周辺機器を接続した状態で再起動する必要があります。</li><li>● 電源を切った後、すぐに電源を入れ直していませんか？ 電源を切った後は、5秒以上待ってから電源を入れ直してください。</li></ul>
■ Windows NTのスタートアップ画面にアプリケーションプログラムのアイコンが表示されない。	<ul style="list-style-type: none"><li>● VGAモード(画面解像度640×480)で起動したり、画面解像度の設定を変更していませんか？</li><li>● パーソナルコンピュータ用モニターは、画面が全て表示範囲に入るよう正しく表示サイズが調整されていますか？ アプリケーションプログラムのアイコンの位置が、画面の表示範囲の外になっている場合があります。</li><li>● アプリケーションプログラムのショートカットアイコンを削除していませんか？ 誤って削除した場合は、「ごみ箱」の中を確認し、“Init Emv.exe”のショートカットアイコンをもとに戻してください。</li></ul>
■ アプリケーションプログラムを起動すると警告ダイアログが表示される。	<ul style="list-style-type: none"><li>● AVハードディスクはWindows NTに正しく認識されていますか？ Windows NTの管理メニューのディスクアドミニストレータを起動して、AVハードディスクの認識状態を確認してください。</li></ul>

# 故障かな？と思う前に

その他、一般的な症状

症 状	処置のヒント
<p>■ 画面上のPLAYボタンをクリックしても、ビデオモニター（映像確認用）に内蔵VTRに挿入されているテープの再生映像が出ない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ビデオモニター（映像確認用）の電源は入っていますか？</li> <li>● ビデオモニター（映像確認用）用のケーブルは正しく接続されていますか？</li> <li>● VTRテープは挿入されていますか？</li> <li>● VTRテープには正しく映像が記録されていますか？</li> <li>● Deviceの選択は「50Mx2, 50Mx1, 25Mx4」になっていますか？</li> <li>● テープのフォーマットとDeviceのフォーマットが一致していますか？</li> </ul>
<p>■ Disk映像がアップロードできない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● AVディスクの空き容量は充分ですか？ AVディスクの空き容量は、編集ソフト「デジタイザ」のFree表示で確認できます。 表示が“00:00:00:00”の場合は、空き容量がありません。不要なクリップを削除して、必要な空き容量を確保する必要があります。</li> </ul>
<p>■ Disk映像にノイズがのったり、フレーム落ちが発生したりする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 指定の編集アプリケーションプログラム以外のソフトをインストールしていませんか？ 指定の編集アプリケーションプログラム以外のソフトをインストールすると、本機が正常に動作しなくなる場合があります。</li> <li>● 指定の編集アプリケーションプログラム以外に、何か他のソフトを動作させていませんか？</li> <li>● REF入力を入れたり切ったりしていませんか？</li> <li>● アップロードデータの場合、アップロードに使用したテープに問題はありますか？ あるいは、使用したVTRのヘッドが汚れていませんか？</li> </ul>
<p>■ 内蔵VTRのプレビュー映像が頻繁に乱れる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 使用したテープに問題はありますか？</li> <li>● VTRのヘッドが汚れていませんか？</li> </ul> <p>内蔵VTRのプレビュー映像は、完全なオン・トラック状態での再生ではありません。再生映像の一部が乱れることもあります。</p>

## 故障かな？と思う前に

その他、一般的な症状

症 状	処置のヒント
■ アップロード中にパーソナルコンピュータ用モニターの表示が、突然一面ブルーの画面になった。	● 電源電圧は、定格の範囲にありますか？ 極端に電圧が低下したり、電源事情の悪いところで使用される場合には、「無停電安定化電源」等のご使用をお薦めします。
■ ダウンロードできない。	● VTR にテープは入っていますか？ ● テープが“SAVE”（書込み禁止）になっていませんか？
■ インジケータが正常に動作しない。	● ハードウェアに異常が生じた可能性があります。 電源を切り、電源コンセントから電源プラグを抜いてください。
■ 電源を入れると、アラーム音が間欠的に鳴り続ける。 ■ 異臭や加熱に気づいた。 ■ その他偶発的に発生し、検出が困難な症状	● ハードウェアに異常が生じた可能性があります。 電源を切り、電源コンセントから電源プラグを抜いてください。

# コネクタの信号

## VIDEO INPUT

Y, P <sub>B</sub> , P <sub>R</sub> (ANALOG)	: BNC × 3
VIDEO IN	: BNC × 2 ループスルー 75 終端スイッチ付き
REF VIDEO IN	: BNC × 2 ループスルー 75 終端スイッチ付き

## VIDEO OUTPUT

Y, P <sub>B</sub> , P <sub>R</sub> (ANALOG)	: BNC × 3
VIDEO OUT	: BNC × 2
MONITOR OUT	: BNC × 1 スーパーインポーズ付き

## AUDIO INPUT

AUDIO IN (DIGITAL)	: XLR × 2 CH1-2、CH3-4 AES/EBUフォーマット
AUDIO IN (ANALOG)	: XLR × 4 CH1、CH2、CH3、CH4
MIC IN (フロント)	: M6

## AUDIO OUTPUT

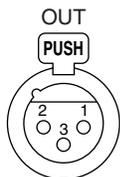
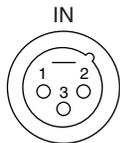
AUDIO OUT (DIGITAL)	: XLR × 2 CH1-2、CH3-4 AES/EBUフォーマット
AUDIO OUT (ANALOG)	: XLR × 4 CH1、CH2、CH3、CH4
MONITOR OUT	: XLR × 2 L (CH1)/R (CH2)
HEADPHONES (フロント)	: M6

## TC IN

TC IN	: XLR × 1
-------	-----------

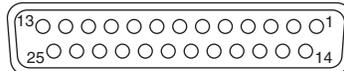
### XLR

ピン No.	信号
1	GND
2	HOT
3	COLD



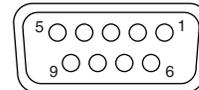
### RS-232C

ピン No.	信号
1	GND
2	TXD
3	RXD
4	RTS
5	CTS
6	DSR
7	SG
8	DCD
20	DTR



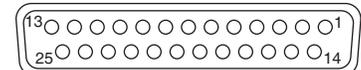
### RS-422A

ピン No.	信号
1	GND
2	RXD -
3	TXD +
4	GND
5	spare
6	GND
7	RXD +
8	TXD -
9	GND



### PARALLEL

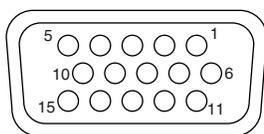
ピン No.	信号
1	- STROBE
2 - 9	PD0 - PD7
10	- ACK
11	BUSY
12	PE
13	SELECT
14	- AUTFD
15	- ERROR
16	- PINIT
17	- SL IN
18 - 25	GND



# コネクタの信号

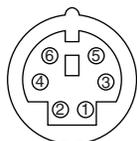
## RGB I/F

ピン No.	信号
1	CRV
2	CGV
3	CBV
4	un used
5 - 8	GND
9	+ 5V
10	GND
11	SDA
12	DCI Comm
13	- CHSYNC
14	- CVSYNC
15	SCL



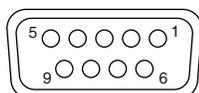
## Key board/Mouse

ピン No.	信号
1	DATA
2	un used
3	GND
4	+ 5V
5	CLOCK
6	un used



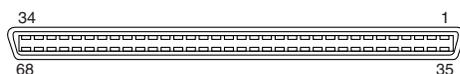
## SERIAL 1, 2

ピン No.	信号
1	CD
2	RXD
3	TXD
4	DTR
5	GND
6	DSR
7	RTS
8	CTS
9	CI



## SCSI CH1/A, CH2/B

ピン No.	信号	ピン No.	信号
1	+ DB (12)	35	- DB (12)
2	+ DB (13)	36	- DB (13)
3	+ DB (14)	37	- DB (14)
4	+ DB (15)	38	- DB (15)
5	+ DB (P1)	39	- DB (P1)
6	+ DB (0)	40	- DB (0)
7	+ DB (1)	41	- DB (1)
8	+ DB (2)	42	- DB (2)
9	+ DB (3)	43	- DB (3)
10	+ DB (4)	44	- DB (4)
11	+ DB (5)	45	- DB (5)
12	+ DB (6)	46	- DB (6)
13	+ DB (7)	47	- DB (7)
14	+ DB (P)	48	- DB (P)
15	GND	49, 50	GND
16	DIFFSENSE	51, 52	TERM POWER
17, 18	TERM POWER	53	RESERVED
19	RESERVED	54	GND
20	GND	55	- ATN
21	+ ATN	56	GND
22	GND	57	- BSY
23	+ BSY	58	- ACK
24	+ ACK	59	- RST
25	+ RST	60	- MSG
26	+ MSG	61	- SEL
27	+ SEL	62	- C/D
28	+ C/D	63	- REQ
29	+ REQ	64	- I/O
30	+ I/O	65	- DB (8)
31	+ DB (8)	66	- DB (9)
32	+ DB (9)	67	- DB (10)
33	+ DB (10)	68	- DB (11)
34	+ DB (11)		



## エラー項目

### WARNING ランプ点灯時

モニター表示	内 容	VTRの動作
FAN STOP	ファンモータが停止した場合には表示します。	動作継続
NO RF	再生時、テープのブランク部分を1秒以上検出した場合には表示します。 下記の条件を全て満たしたとき、ブランク部分として認識します。 ●全てのヘッド出力がない。 ●再生データが読み取れない。 ●CTLがない。	動作継続
SERVO NOT LOCKED	再生、記録、編集時、サーボが3秒以上外れた場合には表示します。	動作継続
LOW RF	再生、記録、編集時にエンベレベルが通常の約1/3の状態を1秒以上検出した場合には表示します。	動作継続
HIGH ERROR RATE	エラーレートが悪化し、ビデオ/オーディオのいずれかの再生信号に修正/補間がかかった場合には表示します。	動作継続

### AUTO OFF ランプ点灯時

モニター表示	内 容	VTRの動作
CAP ROTATE TOO SLOW	キャプスタンモータの回転数が異常に低い場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF → ON)
CAP TENSION ERROR	キャプスタンモードでS側テンション異常を検出した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF → ON)
DEW	結露を検出した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯し、メッセージ表示が点滅してEJECTモードへ移行します。EJECT後、結露を除去するためにドラムが回転します。 結露が解除されると、「AUTO OFF」ランプ、メッセージ表示が消えVTRは使用可能となります。 ●EJECTモードで結露を検出すると、その時点でドラムが回転します。 ●カセットが挿入されている時に結露を検出すると、ドラムの回転を止め、EJECT後にドラムが回転します。	EJECT
DRUM ROTA TOO FAST	シリンダモータの回転数が異常に高い場合、「AUTOOFF」ランプが点灯し、メッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF → ON)

## エラー項目

### AUTO OFF ランプ点灯時

モニター表示	内 容	VTRの動作
DRUM ROTA TOO SLOW	シリンダモータの回転数が異常に低い場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF → ON)
DRUM TORQUE ERROR	シリンダモータに異常トルクがかかっていることを検出した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯し、メッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF → ON)
E-FF	ローディング途中または、ローディング完了後に、テープ始端およびテープ終端を同時に検出した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF → ON)
FRONT LOAD ERROR	ローディング途中(ハーフポジション)の終始端処理動作で、巻き取り側リールが一定時間空回りした場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF → ON)
FRONT LOAD MOTOR	EJECT モードに移行し6秒経過してもカセットアップしない場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。 <ノート> カセット挿入後、6秒経過してもカセットダウンにならない場合、EJECT モードへ移行します。	停止 (POWER OFF → ON)
LOADING MOTOR	アンローディング動作が6秒以内に完了しない場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。 <ノート> ローディング動作が6秒以内に完了しない場合、EJECTモード(アンローディングモード)へ移行します。	停止 (POWER OFF → ON)
REEL DIR UNMATCH	巻き取り側のリールモータが逆転した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF → ON)
REEL TENSION ERROR	リールモードでS側テンション異常を検出した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF → ON)
SERVO COMM ERROR	サーボマイコンが10秒経過しても、システムコントロールマイコンの指示に従わない場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF → ON)
SERVO CONTROL ERR	サーボマイコンからの応答が1秒以上ない場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF → ON)
SERVO ERROR	瞬停等でサーボマイコンのみRESETがかかった場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF → ON)

## エラー項目

### AUTO OFF ランプ点灯時

モニター表示	内 容	VTRの動作
S-FF/REW TIMEOVER	始末端処理動作が終了しない場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF → ON)
S REEL TOO FAST	S リールモータの回転が異常に速い場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF → ON)
S REEL TORQUE ERR	S リールモータに異常トルクがかかっていることを検出した場合。もしくは、電流検出抵抗に異常電流が流れていることを検出した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF → ON)
T REEL TOO FAST	T リールモータの回転が異常に速い場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF → ON)
T REEL TORQUE ERR	T リールモータに異常トルクがかかっていることを検出した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF → ON)
UNLOAD ERROR	アンローディング時テープを巻き取らなかった場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF → ON)
WINDUP ERROR	テープ総量検出後、テープ走行中、巻き取り側リールのテープ巻き取り量と、送り出し側リールのテープ送り出し量が、異常に異なった場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF → ON)
W-UP REEL NOT ROTA	カセット挿入後、テープ総量未検出状態でテープ走行中、テープ巻き取り側リールがテープ巻き取っていない場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF → ON)

## 保守とお手入れについて

---

- 本機は高性能を発揮するため、内部は精密な構造になっています。  
未永くお使いいただくために、機械の保守・手入れにご留意ください。  
なお、注油・部品の交換・電気部品の調整・整備は、高度の技術や設備を要しますので、お買い上げの販売店にご相談のうえ実施願います。
- 本機の内部にたまったゴミやホコリの除去、潤滑油の補充、磨耗部品（ヘッドなど）の交換など、保守・点検を怠ると良い映像や正常な記録が得られないばかりでなく、機械の寿命にも影響してきますので、なるべくお早めに保守・点検をお受けいただきますようお願いいたします。

### ビデオヘッドのクリーニングについて

本機には、自動的にヘッドの汚れを軽減するオートヘッドクリーニング機能が付いていますが、より信頼性を高めるために、毎日ビデオヘッドを清掃することをお薦めいたします。  
クリーニング液は当社指定のものをご使用ください。

## 結露について

---

結露が起こるのは、暖房された部屋の窓ガラス一面に水滴（露）がつくのと同一原理です。  
本機やテープを温度差や湿度差の大きいところに移動したときに起こります。

- 湯気が立ちこもる湿度の多いところや、暖房した直後の部屋へ移動したとき。
- 冷房されているところから急に、温度や湿度の高いところへ移動したとき。

このようなところへ移動したときには、すぐ電源を入れずに 10 分程度放置したままお待ちください。  
もし、本機に結露が発生したときは、「AUTO OFF」ランプが点灯し、カセットテープは自動的に排出されます。

そのまま、電源を入れた状態で「AUTO OFF」ランプが消えるまでお待ちください。

# アフターサービス

## アフターサービスについて

### 1. 保証書...内容のご確認と保存のお願い

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入を確かめて、お買い上げの販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

### 2. 保証期間...お買い上げ日から1年間

取扱説明書および本体貼付ラベル等の注意事項に従った正常なご使用状態で、保証期間内に万一故障を生じた場合には、保証書記載事項に基づき、販売店で「無料修理」させていただきます。保証期間内でも次の場合には、原則として有料にさせていただきます。

- (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
- (ロ) お買い上げ後の取付場所の設置、輸送、落下などによる故障および損傷
- (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷
- (ニ) その他指定外の使用条件で使用された場合に生じた故障および損傷
- (ホ) 他の接続機器および接続部材に起因して生じた故障および損傷
- (ハ) 別に指定する\* 磨耗性の部品、あるいは付属品の故障および損傷

### 3. 修理を依頼される前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、「故障かな？と思う前に」の項を点検していただき、なお異常があるときは、必ず電源スイッチをOFFにしてから、販売店にお申しつけください。

ご転居・定期保守サービス等ご不明な点は、お買い上げの販売店にご相談ください。

\* 磨耗性の部品とは、下記部品類です。

- |              |         |
|--------------|---------|
| ●ビデオヘッド      | ●モーター類  |
| ●ハードディスクドライブ | ●各種ベルト  |
| ●ピンチローラー     | ●ゴムプリー類 |
| ●各種ブレーキ      | ●ローラー類  |
|              | ●ヘッド類   |

## 定期保守のおすすめ

ビデオは

- 複雑なメカニズムで構成されており、ベルト、ローラー、ヘッドなどが数多く使用されています。
- これら部品は、使用時間が経過するにつれて磨耗劣化し、故障の原因となります。
- また、ホコリ、ゴミなども安定した機能を妨げ、トラブル発生の原因となります。

このため、単に将来の故障発生時に行うアフターサービスにとどまらず、総合的なサービス、即ちビデオシステムの機能を正常に維持させ、消耗部品などによる突発的な故障を未然に防ぐために、保守サービス（メンテナンス）を定期的に行うことが非常に大切であるといえます。定期保守サービス（有料扱い）については、お買い上げの販売店にご相談ください。

# 定格

## 【総合】

電源： AC100 V (± 10 %)、50Hz/60Hz  
消費電力： 450 W

は安全項目です。

動作周囲温度：

5 °C ~ 35 °C

動作周囲湿度：

10 % ~ 80 % (結露なし)

外形寸法：

230 (幅) × 641 (高さ) × 550 (奥行き) mm

重量：

45.1 kg (本体部のみ)

## 【PC 部】

CPU：

X86 互換 CPU

OS：

Windows NT 4.0J

メモリー：

256 MB

System HDD：

EIDE タイプ

AV HDD：

ビデオ： 18GB × 4、オーディオ： 18GB × 1  
公称値 140 分の記録が可能 (DVCPRO 50 フォーマット時)

CD-ROM：

ATAPI 対応

FDD：

3.5 インチ

## 【VTR 部】

記録フォーマット：

DVCPRO 50/DVCPRO フォーマット

テープスピード：

DVCPRO 50 (2 倍速)  
： 135.280 mm/sec

DVCPRO 50 (1 倍速)  
： 67.640 mm/sec

DVCPRO (4 倍速)  
： 135.280 mm/sec

記録/再生時間：

92 分： AJ-5P92LP 使用  
(DVCPRO 50 フォーマット時)

## 【ビデオ】

サンプリング周波数：

Y: 13.5 MHz,

PB/PR: 6.75 MHz、(4 : 2 : 2)

PB/PR: 3.375 MHz、(4 : 1 : 1)

量子化：

8 ビット/サンプル

圧縮：

DVCPRO 50/DVCPRO

## 【オーディオ】

サンプリング周波数：

48 kHz

量子化：

16 ビット/サンプル

チャンネル数：

4 チャンネル (内部： 8 チャンネル)

# 定格

---

## 【入出力端子】

### ■ ビデオ入力

- アナログ・コンポジット：  
BNC × 2 (ループスルー付き)
- アナログ・コンポーネント (Y, PB, PR)：  
BNC × 3
- アナログ・リファレンス・ビデオ：  
BNC × 2 (ループスルー付き)

### ■ ビデオ出力

- アナログ・コンポジット：  
BNC × 2
- アナログ・コンポーネント (Y, PB, PR)：  
BNC × 3
- アナログ・コンポジットモニター：  
BNC × 1 (スーパーインポーズ付き)

### ■ オーディオ入力

- アナログ (CH1/CH2/CH3/CH4)：  
XLR × 4、600  
+ 4dBm
- デジタル (CH1-2/CH3-4)：  
XLR × 2、AES/EBU フォーマット
- マイク：  
M6 (レベル可変)

### ■ オーディオ出力

- アナログ (CH1/CH2/CH3/CH4)：  
XLR × 4 (ローインピーダンス)  
+ 4dBm
- デジタル (CH1-2/CH3-4)：  
XLR × 2、AES/EBU フォーマット
- モニター (L/R)：  
XLR × 2 (ローインピーダンス)  
+ 4dBm
- ヘッドフォン：  
M6 (レベル可変)、8

### ■ その他

- タイムコード入力：  
XLR × 1
- 外部 VTR 制御：  
RS-422A (D-SUB、9 ピン) × 2
- エラーレポート/編集 PAD 接続：  
RS-232C (D-SUB、25 ピン) × 2

---

松下電器産業株式会社 AVC 社 システム事業グループ

☎ 571-8503 大阪府門真市松葉町 2 番 15 号 ☎ (06) 6901 - 1161

VQT9184

F0201W1081 